

市職員の給与と人事

詳細 行政監理室 頁(32)6182

「地方公務員法第58条の2」および「苫小牧市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条」の規定に基づき、市職員の給与と勤務状況などと公平委員会の業務状況について、市民の皆さんに概要をお知らせします。

給与の決定

苫小牧市職員の給与は、生計費をはじめ、国家公務員や他の地方公共団体職員、民間企業の従業員の給与などを総合的に考慮した「苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例」で定められています。これら給与に関する予算は毎年、市議会の審議を経て決定しています。

職員を適正に配置

市職員の定数は、国が示した定員モデルや他市の状況、市の行政需要を考慮して適正な配置に努めています。



1 任用の状況

職員の定数は「苫小牧市職員定数条例」で定められています。平成23年4月1日現在の職員数は1千796人で、平成22年4月1日と比較して24人の減となっています。

区分	職員数(人)		対前年増減(人)
	23年度	22年度	
一般行政部	703	697	6
特別行政部	397	403	6
公営企業会計部門	696	720	24
合計	1,796	1,820	24

職員数には特別職、苫小牧港管理組合派遣職員、臨時職員、非常勤職員は含まない

区分	採用者数(人)	退職者数(人)
一般部局	56(23)	75(4)
市立病院	4(0)	4(0)
消防	10(5)	10(0)
教育委員会	3(4)	19(2)
合計	110(32)	145(6)

()は再任用職員で外数
平成22年4月1日から23年3月31日までの新規採用者および退職者

4 研修および勤務成績の評定の状況

1 研修の状況

平成22年度の実施状況は次のとおりです。

区分	受講者数	内容
本修	487人	新採用基礎・継続、一般職員・監督者・管理者など
別修	682人	経理実務、危機管理、サービスアップ研修など時宜にかなった研修、専門・実務的知識の取得など
派遣研修	41人	市町村職員中央研修所、全国建設研修センター、北海道市町村職員研修センターなど
その他	2人	国内都市派遣
職場研修	85職場505件	(各職場内で企画実施)
派遣研修	680人	61職場(道庁、胆振支庁など)
自主研修	53人	通信教育、自主研究グループ

2 勤務成績の評定の状況

平成22年度においては、年1回(1月)、職級昇任(現在の級よりも上位の級に任命すること)の対象者に対し、上司による評価を行いました。また、一部の管理職を対象として、人事評価制度を試行実施しました。

5 分限および懲戒の状況

平成22年度の分限および懲戒の状況は次のとおりです。

区分	人数
分限処分者数(人)	0
懲戒処分者数(人)	5

6 福祉および利益の保護の状況

1 厚生制度

職員住宅の貸し付け、保健室・休憩室の設置、健康診断の実施、作業服などの貸しをしています。また、全職員加入の福利厚生会では、職員交流スポーツ大会やレクリエーション、文化・体育の各サークルへの活動助成、慶弔金などの給付、生命保険の団体取り扱いをしています。

2 共済制度

職員とその家族の病気などによる健康保険、退職後の年金給付、住宅資金などの貸し付けを行っています。

3 災害補償制度

職員が公務上で災害を被った場合の補償を行っています。平成22年度の公務上の災害件数は公務災害15件、通勤災害3件となっています。

7 公平委員会の業務の状況

1 勤務条件に関する措置の要求の状況

平成22年度においては、前年度からの繰り越しを含めた措置の要求はありませんでした。職員は給与、勤務時間その他の勤務条件に関し、市の当局から適当な措置が取られるように公平委員会に対して要求ができません。

2 不利益処分に関する不服申立ての状況

平成22年度においては、前年度からの繰り越しを含めた不服申立てはありませんでした。職員は懲戒そのほか意に反する不利益な処分に関し、公平委員会に不服の申立てができません。

3 勤務時間その他勤務条件の状況

平成23年4月1日現在の一般職員の勤務時間、平成22年度の年次有給休暇平均取得日数、育児休業・介護休暇取得者数は次のとおりとなっています。

週の勤務時間	38時間45分
勤務日	月曜日～金曜日
勤務時間	8時45分～17時15分
休憩時間	12時～12時45分

本庁勤務の場合。2交代や3交代の場合は週38時間45分を原則に割り振り
休憩時間は、労働基準法で定められている休憩時間

10.6日	1年度20日付与、現年度分のみ20日を限度に繰り越しが可能
-------	-------------------------------

区分	育児休業	介護休暇
男性	0	0
女性	32	0
計	32	0

2 サービスの状況

平成22年度の服務規律確保の取り組みは次のとおりとなっています。

取り組み	公務員倫理	綱紀保持など
内容	職員の意識やモラルの向上を促し、不祥事の再発防止と市民からの信頼される職員の育成など	綱紀の保持、安全運転の励行と交通事故・違反などの周知徹底
周知方法など	職員の各階層別に実施する公務員倫理研修と、受講した管理職による職場研修の実施	所属長または職員に対する通知など

服務の根本基準

すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない(地方公務員法第30条)。また、職員には次のことが求められています。
●法令などと上司の職務上の命令に従う義務 ●信用失墜行為の禁止 ●秘密を守る義務 ●職務に専念する義務 ●政治的行為の制限などに関する規定の遵守

8 給与の状況

市職員の給与と主な諸手当の支給状況、期末・勤勉手当の支給割合などをお知らせします。

1 職員給与の支給状況

職員給与は、職員に支給される毎月の給料と、扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外手当などの諸手当、民間企業との賞与にあたる期末・勤勉手当などをあわせたものです。(表1)

2 一般行政職の初任給と経験年数・学歴別平均給料月額

職員の初任給は、民間企業の水準を考慮して決められている国家公務員の初任給を参考に定められています。経験年数・学歴別の平均給料は表2のとおりです。



表1 職員給与の支給状況【平成22年度一般会計決算】

職員数(A)	給与額				1人当たり給与年額(B/A)
	給料	諸手当	期末・勤勉手当	計(B)	
人	千円	千円	千円	千円	千円
1,172	4,471,717	901,670	1,555,742	6,929,129	5,912
【再任用を含む】					
1,107	4,375,818	892,546	1,538,165	6,806,529	6,149

諸手当には退職手当を含まない。

表2 一般行政職の初任給と経験年数・学歴別平均給料月額 【平成23年4月1日現在】

区別	経験年数	初任給			
		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上
大学卒	苫小牧市職員	172,200円	278,900円	325,700円	372,400円
	国家公務員I種	185,800円	283,767円	337,862円	384,602円
高校卒	苫小牧市職員	140,100円	240,000円	296,700円	332,700円
	国家公務員II種	140,100円	235,737円	287,000円	329,966円

はI種、II種平均